

熊本地震災害派遣薬剤師・九州ブロック現地活動報告 No.5

平成 28 年 4 月 25 日

- 【派遣日程】 4月16日（土）～4月18日（月）
- 【報告者】 佐賀県 北 雄一朗
- 【メンバー】 前谷 逸生, 安永 麗子, 北 雄一朗
- 【派遣先】 益城総合体育館
- 【交通状況】 4月16日15時に佐賀県薬剤師会を出発、16時鳥栖三養基地区会営業局にてメンバーと合流後、有明沿岸道路を利用して19時45分に熊本県薬に到着し益城町へ移動。益城町役場周辺に駐車し、約1kmほど徒歩にて益城総合体育館到着。到着が夜であり、街灯や家の灯りがまったくない暗闇であったが、町役場から総合体育館まで偶然居合わせた益城町の保健師と同行することができた。（家屋や塀の倒壊、道路の隆起・陥没や、垂れ下がっている電線など危険箇所多数あり）
- 4月18日14時に熊本県薬を出発、植田ICから高速を使い、帰路を取る。
- 【ライフライン】 電気：総合体育館○、周辺地域：×、水道：×、ガス：×
- 【活動内容】 4月16日21時益城総合体育館到着後、福岡県八幡薬剤師会チームと6名で日本赤十字社DMA Tの救護所（2チームが展開）にて、調剤とお薬手帳や残薬の確認等を行う（活動内容は3日間ほぼ同じ）。DMA Tチームは8時間交代のシフト制で入れ替わりがあり、それぞれのチームで所持されている医薬品が異なるため、引き継ぎ時に医薬品の確認を行う。
- 4月17日福岡県チーム2名合流、熊本県薬からも3名来ていただき活動継続、19:30～翌18日6:00まで休憩時間をいただき、熊本県薬にて清拭と着替えを行い益城町へ戻り車中にて仮眠。
- 4月18日6:00～13:00救護所での活動を終え、帰佐。

-
- 【派遣日程】 4月20日（水）～4月21日（木）
- 【報告者】 宮崎県 安藤 潤
- 【メンバー】 猿川 隆文, 中津留 敏裕, 中村 隆介, 安藤 潤
- 【派遣先】 阿蘇熊本空港ホテルエミナース
- 【交通状況】 宮崎県薬 → 5時間 → 熊本県薬 → 1時間 → 派遣地

現在は益城インターでの出入りが可能（緊急車両のみ）

【ライフライン】 電気○、ガス不明、水道△（飲料×）、建物内宿泊制限あり（3歳以下、60歳以上、持病持ち）、駐車場は車内泊の車であふれており災害派遣車両の駐車は困難

【活動内容】 4/20 12:00 ○熊本県薬剤師会到着。支援物資（水 20L×10）お渡し。
13:00 ○ホテルエミナース(避難所)到着。申し送り。業務引き継ぎ。宮崎県担当は避難所2カ所。「ホテルエミナース」「広安西小学校」各2名ずつに分かれて業務開始。「広安西小学校」に関しては別紙にて報告。
○20日より派遣されていた「姫路赤十字病院医療チーム」と共に、救護室にて調剤業務（54名）、お薬相談窓口・OTC対応業務（25名）実施。
○「姫路赤十字病院医療チーム」の診察業務は16:00で終了。医療チームミーティングへ参加。感染ゴミ処理、トイレ等の衛生管理、備蓄薬品目に関する提案を実施。
○お薬相談窓口・OTC対応業務は原則24時間対応にて継続。広島県薬剤師会、山口県薬剤師会と分担し、3時間毎交代制で担当。
○ロビー中央に開設されている看護師協会の「健康相談窓口」業務のサポート業務（お薬相談、OTC対応）も平行して実施。（24時間体制）（32名）
○夜間車中泊者を対象に、看護師と共に巡回。診察の必要性を感じた者に受診勧告。DVT予防を呼びかけ。（避難者全員約2,000名対象）
4/21 3:00～6:00 ○夜間お薬相談窓口業務（3名）実施後、通常業務へ。（3薬剤師会合同）
7:00 ○避難所内全トイレ（仮説含む）6カ所に対して、「清掃状況」「衛生状態」「手消毒用アルコールの残チェック」業務を実施。
9:50 ○「姫路赤十字病院医療チーム」ミーティングへ参加。診察時間外業務結果を報告。受診勧告を行った患者に関して申し送りし、予想される疾患別に新たに備蓄した医薬品を連絡。
10:00 ○昨日同様、「姫路赤十字病院医療チーム」と共に、救護室にて調剤業務（35名）、お薬相談窓口・OTC対応業務（5名）実施。

13:00 ○次班現地到着。依頼した物資（経口補水液、経口補水ゼリー、カロリーゼリー、消毒等）受け取り。申し送り・業務引き継ぎを終え、交代。